

あしかが未来倶楽部が結成となり約 1 年が経過しました。地方議会は、二代表制を採用し、議会は議事機関であります。行政側からの政策の提案・修正・変更等について、政策集団として常に会派で調査、研究を行い、議員提案なども視野に入れ多くの同志で建設的な議論を深めることにより、多くの市民の意見を反映することができると思います。今後も、多くの議員で議論を深めていきながら、引き続き、足利市政発展を目指して参ります。

あしかが未来倶楽部  
会長 荻原 久雄

会派綱領(前文)

私たちは、足利市政発展に議事機関として積極的に公共の福祉増進に寄与するため保守会派である「あしかが未来倶楽部」を結成しました。  
先人のたゆまない努力により、我が国は長寿国という誇るべき成果を得ましたが、その反面、少子化による人口減少に直面しています。  
一方、経済成長の鈍化と財政悪化による財政諸機能の不全に苦しむ中で、人口減少による生産力低下も憂慮されており、このことは国はもとより地方こそ深刻な状況です。  
そこで、地方議会を構成する私たちは、地方においてこれらの現実を明るく希望ある未来に変えるため、少子高齢化、長寿人口の活用等「人口減少社会におけるまちづくり」に沿った諸政策等を提案し、市民一人ひとりが郷土を愛し誇れる心を次代に継承する希望溢れる「元気に輝く都市」を目指します。

平成 2 9 年 9 月制定

あしかが未来倶楽部 基本政策

1. 民主主義の下に、時代に適さぬものを改め、維持すべきものを護り、秩序の中に進歩を求めます。

2. 多様な組織・団体等と対話・調整し、議会を公正に運営し、執行機関を謙虚に機能させます。

3. 政策判断には、勇気を持って自由闊達に真実を語り、協議し、決断します。

4. 次世代の意思決定や使用選択権を損なわぬよう財政の効率化と行政コストの削減を促し、持続可能な財政基盤の構築を図ります。

5. 努力するものが報われ、努力する機会と能力に恵まれぬものを皆で支える社会の実現のため、その条件整備に力を注ぎます。

PLAN 1 誇りある足利をまもるために民主主義の下  
政策立案機能と行政チェック機能を全力で発揮

- ・市民満足度の高い行政サービスを提供するため、限りある行財政資源を選択と集中の考えのもと、スリムで活力ある市政運営の確立に取り組みます。
- ・議会は立法機関であり、行政と対等の立場であるため様々な意見を公平中立に聞いて判断します。
- ・二代表制を体現するため、議会改革を積極的に進めます。
- ・政策勉強会により政策立案能力を高め、議員提案条例を制定します。



PLAN 2 様々な市民の意見を収集し政策に反映  
その過程や結果を積極的に公開

- ・様々な団体・個人と会派タウンミーティングを開催し、多種多様な生ご意見を頂戴し、会派・議員の政策に反映させます。
- ・本会議などのインターネット中継導入や情報公開を進めます。
- ・広報改革を進め、議会や議員の活動を周知し市民に信頼される、身近な議会を目指します。



PLAN 3 若者と高齢者が集う持続可能なまちづくり

- ・高齢者が住み慣れた足利市で自分らしい人生を全うできる社会（地域包括ケアシステム）の構築を推進します。
- ・足利に生まれて良かったと思える子育て支援策を整備します。
- ・子供医療費現物給付年齢枠引き上げを提案します。
- ・障がい者が安心して暮らせる環境づくり（ノーマライゼーション）を推進します。



PLAN 4 誰もが働くことに満足し将来に希望が持てる  
働き方改革に挑戦

- ・職場環境の整備と、稼ぐ力・技術力のある産業の育成・地産地消を更に進めます。
- ・市内企業の持続的発展や挑戦する企業を支援します。（金融支援拡大など）
- ・暮らしを支える安定した雇用創出のため人材の確保・育成を図ります。
- ・ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現を推進します。
- ・働く場面で全ての女性が、個性と能力を発揮できる社会を目指します。



PLAN 5 観光立市を目指し新たな観光資源の発掘と  
インバウンド観光を推進

- ・観光都市宣言を契機に、世界に誇れる「観光都市足利」を国内外へ積極的に P R します。
- ・自然、産業、文化、暮らしなどの豊かな地域資源を活用し、多くの人が訪れる「観光立市」を目指します。
- ・多言語対応のサービスなど外国人観光客にやさしい環境を目指します。
- ・おもてなし意識の醸成を全市的に推進します。



PLAN 6 人口減少社会に対応できるまちづくり

- ・財政の効率化と行政のコスト削減を行い、持続可能な財政基盤の確立に努めます。
- ・定住促進、U I J ターンを推奨した移住政策を推進します。
- ・移住定住対策として良質な住宅地の整備を進めます。
- ・市当局と議会の I C T 技術の早期導入を進めます。
- ・公共交通を中心としたコンパクトシティの実現を進めます。



PLAN 7 時代を見据えた公共施設の在り方を提案

- ・公共施設の最適化を鑑みた議会独自の公共施設の在り方を、特別委員会等における勉強会や意見交換を通して積極的に検討します。
- ・生活に直結する困難な課題も、市民と共にタウンミーティング等を通して積極的に議論します。
- ・自然災害に対応できる公共施設のあり方を早急に検討します。
- ・稼げる・魅力ある施設、持続可能なマネジメントを推進します。



PLAN 8 足利市の独自の魅力発信と広域連携の推進

- ・歴史、文化、自然、風土など豊かな地域資源を磨き上げ、まちの魅力を効果的に発信します。
- ・総人口約 73 万人※1の両毛地域の広域連携を推進します。
- ・両毛地域の中心に位置する本市の役割と魅力を検証し、未来の広域連携の在り方を検討します。



※1・・・平成27年の足利市、佐野市、館林市、太田市、桐生市、みどり市の総人口